

競技規則問題 2025 C級 ②



- 1 ゴールポスト間のゴールラインの幅はどれが正しいか。
 - (a) 5 cm
 - (b) 6 cm
 - (c) 8 cm
 - (d) 10 cm

- 2 いつ競技の開始となるか。
 - (a) 第 1 レフェリーが笛を吹いたとき
 - (b) スローオフを行うプレーヤーがボールを手から離したとき
 - (c) タイムキーパーがストップウォッチまたは公示時計を始動させたとき
 - (d) コートレフェリーがスローオフの合図の笛を吹いたとき

- 3 前半が 1 分早く終了した。そのとき規則違反はなく、ボールはゴールエリア上の空中にあった。笛の合図の後、ボールはアウターゴールラインを通過してコート外へ出た。両チームのプレーヤーはまだコート内に残っていた。
 - (a) その 1 分は実施しない
 - (b) その 1 分は休憩時間の前に実施する
 - (c) その 1 分は休憩時間の後、後半が始まる前に実施する
 - (d) その 1 分は後半の競技時間に付加する
 - (e) 競技を再開するときは、最後にボールを所持していたチームがボールを所持する
 - (f) ゴールキーパースローで競技を再開する

- 4 成年・高校生の女子用、および中学生のボールはどれか。
 - (a) 外周 53 cm、重さ 350 g
 - (b) 外周 54 cm、重さ 300 g
 - (c) 外周 55 cm、重さ 425 g
 - (d) 外周 56 cm、重さ 375 g

5 タイムアウト中に、白チームの 5 番はチームで初めての不正交代をした。タイムアウトが取られたとき、白チームがボールを所持していた。

- (a) 罰則は不要
- (b) 白チームの 5 番を警告
- (c) 白チームの 5 番を 2 分間退場
- (d) 黒チームのフリースロー
- (e) 白チームが引き続きボールを所持

6 ユニホームに関する正しい記述はどれか。

- (a) 各チームのゴールキーパーとして出場するすべてのプレイヤーは、同色のユニホーム（シャツ）を着用しなければならない
- (b) 縦が 20 cm 以上の胸番号と背番号を、シャツにつけなければならない
- (c) ゴールキーパーは、柔らかい素材でできた頭部用プロテクターをつけてもよい
- (d) (ゴールキーパーを含めて)プレイヤーは、1 から 100 番までの好きな番号を使ってよい

7 白チームの 7 番は、コート上での治療を受けた後、コートを出てベンチに座った。白チームの 1 回目の攻撃のとき、黒チームの 2 番がボールをインターセプトし、白チームのゴールの前でノーマークの状態となった。黒チームの 2 番がシュートを打つ前に、白チームの 7 番は白チームの 9 番に代わってコートに入った。

- (a) 白チームの不正交代であるため、タイムキーパーは、黒チームの 2 番がシュートを打つまで競技の中断を待つ
- (b) 白チームの不正交代であるため、タイムキーパーは、直ちに競技を中断する
- (c) タイムアウト
- (d) 白チームの 7 番を 2 分間の退場とする
- (e) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの 7 番を、報告書を伴わない失格とする
- (f) 競技の中断の状況に相応しいスローで競技を再開する
- (g) 黒チームの 7 m スロー
- (h) 黒チームのフリースロー
- (i) 攻撃回数にかかわらず、白チームの 7 番は 2 分間の退場時間の満了とともに、コートに戻ることができる

8 白チームのゴールエリアのすぐ外側の床に、ボールが止まっていた。白チームのゴールキーパー 1 番は、相手チームにボールを取られないよう、ゴールエリア内からそのボールを拾い上げた。

- (a) 黒チームのフリースロー
- (b) 黒チームの 7 m スロー
- (c) 白チームのゴールキーパー 1 番に段階的罰則を適用
- (d) この行為は許されるので、競技をそのまま続行

9 白チームはゴールキーパーが不在の状況で、攻撃を行っている。白チームの 11 番が打ったシュートを止めた黒チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールキーパー不在のゴールを狙ってボールを投げた。白チームの 10 番は、ボールがゴールに入るのを阻止するため自チームのゴールエリアの外側からジャンプし、ゴールエリア内の空中でボールをキャッチした。そして、ボールを持ったままゴールエリアの中に着地した。

- (a) 黒チームのフリースロー
- (b) 黒チームの 7 m スロー
- (c) 白チームの 10 番に段階的罰則を適用

10 攻撃を行う黒チームの 7 番は、ボールを持たずにコートの外で位置を取っている。レフェリーがコート内に戻るよう指示したが、彼はそれに従わなかった。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 白チームのフリースロー
- (c) 黒チームの 7 番に段階的罰則を適用
- (d) 白チームのスローイン

11 白チームのウィングプレイヤー 4 番が明らかな得点チャンスを得た。最後の瞬間に黒チームの 7 番は開いた片手を使って白チーム 4 番のボールを取ろうとしたが、その手は白チーム 4 番の手に当たってしまった。その結果、シュートは決まらなかった。

- (a) 白チームのフリースロー
- (b) 白チームの 7 m スロー
- (c) 黒チームの 7 番を 2 分間退場
- (d) 黒チームの 7 番を警告
- (e) 黒チームの 7 番への罰則は不要

12 黒チームの 8 番は不正交代のために 2 分間退場となった。競技が再開されて 2 秒後、黒チームの 8 番はスポーツマンシップに反する態度を示し、ベンチに腰を下ろしたままレフェリーに文句を言った。

- (a) 黒チームの 8 番に、2 分間退場を追加する
- (b) 黒チームの 8 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す）
- (c) 黒チームはコート上のプレーヤーを 1 分 58 秒間 2 名、その後も 2 秒間 1 名減らして競技する
- (d) 黒チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らして競技する
- (e) 白チームにフリースローを与える
- (f) タイムアウト

13 競技終了 20 秒前、得点は 29 対 29。白チームのゴールキーパー 12 番はシュートを止め、ボールはアウターゴールラインを越えた。レフェリーは白チームのゴールキーパーズローの判定をし、白チームの 12 番は、自陣のゴールエリアの外にいる白チームの 9 番にパスをした。ボールがゴールエリアラインを越える前に、タイムキーパーから競技中断の合図があった。なぜなら、黒チームの 11 番がコートから出るよりも早く、黒チームの 3 番がコート内に入ったからである。

- (a) タイムアウト
- (b) 黒チームの交代地域から、白チームのフリースロー
- (c) 白チームの 7 m スロー
- (d) 黒チームの 3 番を、2 分間退場とする
- (e) 黒チームの 3 番を、失格とする（レッドカードを示す）

14 白チームの 5 番が打ったシュートは、黒チームのゴールポストに当たって跳ね返り、プレーイングエリアに立っている黒チームの 3 番の足に当たり、黒チームのゴールに入った。

- (a) 白チームのフリースロー
- (b) 白チームの得点
- (c) 白チームの 7 m スロー
- (d) 黒チームのゴールキーパーズロー

15 スローオフに関する正しい記述はどれか。

- (a) スローオフは、レフェリーの笛の合図から 3 秒以内に、コート中央から相手のコートに向かって行われなければならない
- (b) スローオフから直接シュートを狙い、得点を決めることができる
- (c) 防御側チームの不正な位置は、必ず正さなければならない
- (d) スローオフを実施する笛の合図の後に、スローを実施するプレイヤーがドリブルをしたならば、相手チームにフリースローを与えなければならない
- (e) スローオフを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは、スローが行われる前にセンターラインを越えることは許されている

16 白チームの 6 番は片足をコート内に、もう片方の足をサイドラインの外側 1 m の所に置き立っていた。この状態で白チームの 6 番はスローを行い、直接シュートを決めた。

- (a) 再開の笛の合図の後に、白チームのスローインを再度実施
- (b) 黒チームのフリースロー
- (c) 白チームの得点
- (d) 黒チームのゴールキーパーズスロー

17 白チームのゴールキーパー 1 番はゴールキーパーズスローを実施しようとして、ボールを落としてしまった。ボールは、プレーイングエリアで待ち構えている黒チームの 6 番に向かってはずんでいった。そのため白チームの 2 番は、ゴールエリアに向かって飛び込み空中でボールを押し出して、サイドラインからボールを出した。

- (a) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパーズスローを実施
- (b) 黒チームのスローイン
- (c) 黒チームのフリースロー
- (d) 黒チームの 7 m スロー

18 白チームの 4 番の違反に対してフリースローが判定されたが、白チームの 4 番はゴールエリアを横切り、それからボールを床に置いた。

- (a) 白チームの 4 番を 2 分間退場
- (b) 白チームの 4 番を警告
- (c) 黒チームの 7 m スロー
- (d) 黒チームのフリースロー

19 白チームはゴールキーパーが不在の状況で、7 人攻撃を行っている。黒チームの 8 番がパスをインターセプトした。それからドリブルし、無人のゴールに向けシュートを打つための体勢を取る前に、白チームの 3 番に妨害された。その間に、白チームのゴールキーパー 12 番は、白チームの 7 番と正しく交代し、ゴールエリアの中に戻った。

- (a) 黒チームのフリースロー
- (b) 黒チームの 7 m スロー
- (c) タイムアウト
- (d) 白チームの 3 番を 2 分間退場

20 白チームのフリースローとなり、白チームの 5 番は、レフェリーの笛の合図なしに全力で走りながら素早くフリースローを行い、ボールは白チームの 4 番に向かって投げられた。しかしボールは、黒チームの 3 番によってインターセプトされ、黒チームの 3 番は、白チームのゴール前でノーマークの状態となった。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 笛の合図の後に、フリースローを再度実施
- (c) 黒チームの 3 番に段階的罰則を適用し、フリースローを再度実施

21 白チームの役員 B が抗議をしたため、2 分間退場となった。競技が再開される前、役員 B は再度抗議をしたので、失格となった。

- (a) 白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす
- (b) 白チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす
- (c) 白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

22 白チームのチーム役員 C は、前半にスポーツマンシップに反する行為により警告を受けていた。後半 5 分 50 秒に白チームのチーム役員 B が、レフェリーの判定に納得できないことをジェスチャーで大げさにアピールをしたため、2 分間退場となった。そして今、試合終了 3 分前に、白チームのチーム役員 A が、レフェリーの許可なくコートに入場した。

- (a) 白チームのチーム役員 A を警告
- (b) 白チームのチーム役員 A を 2 分間退場とし、白チームのコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。チーム役員 A は、交代地域にいることができる
- (c) 白チームのチーム役員 A を 2 分間退場とし、白チームのコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。チーム役員 A は、交代地域から去らなければならない
- (d) 白チームのチーム役員 A を、報告書を伴わない失格（レッドカードを示す）とし、白チームのコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす
- (e) 白チームのチーム役員 A を、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカードを示す）とし、白チームのコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

23 競技開始時、どちらのレフェリーがコートレフェリーになり、ゴールレフェリーになるのか。

- (a) 第一レフェリーがコートレフェリーになる
- (b) 第一レフェリーがゴールレフェリーになる
- (c) コイントスを行い、誰がどこから始めるのかを決定する
- (d) レフェリーは自由に決めることができる

24 白チームの 5 番は、明らかな得点チャンスを得ていた。ちょうどそのとき、白チームのチーム役員 A がタイムキーパーを侮辱したため、白チームの 5 番がシュートを打とうとした瞬間に、タイムキーパーは笛を吹いた。このチーム役員 A の行為は、タイムキーパーしか気づいていなかった。

- (a) 黒チームのフリースロー
- (b) 白チームのチーム役員 A を警告
- (c) 白チームのフリースロー
- (d) 白チームの 7 m スロー
- (e) 報告書を作成

25 白チームのチーム役員 A はベンチにいるとき、すでに警告となっていた。その後、白チームのチーム役員 A は、交代地域を離れ観客席に移動し、そこからレフェリーの判定に抗議し続けた。

- (a) 何もできない
- (b) 白チームのチーム役員 A を 2 分間退場
- (c) 白チームのチーム役員 A を失格とする (レッドカードを示す)
- (d) 白チームのチーム役員 A を、報告書を伴う失格とする
(レッドカードとブルーカードを示す)
- (e) 白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす